

横浜市長
山中 竹春 様

「特別市」の実現に向けた要望書

本年1月18日の折は、「横浜市が目指す特別市」についてご説明有難うございました。また、意見交換の場を設けていただき、感謝申し上げます。

西区の状況を踏まえ、住民目線で具体的な課題解決に向け、熱心で有意義な意見交換をすることができました。

現在の指定都市制度には、二重行政などさまざまな課題があり、その課題の解決と、行政サービスの向上等に向け、横浜市が特別市制度の実現を目指していることが良く理解できました。

横浜の中心部に位置する西区において、崖地の多い区内の急傾斜地崩壊危険区域への迅速な対応や、帷子川等の河川の管理（治水対策・環境浄化・賑わいづくり）、横断歩道・信号機などによる交通安全、幼稚園も含めた子育て・教育政策など、安全・安心な区民生活のためには二重行政の解消が大変重要であることを再認識することができました。

「特別市」の実現は、行政だけの課題ではなく、区民全体にとっても必要かつ重要であるということを実感し、自らの課題として捉えることができました。

一方、特別市が法制化された際の移行に向けた諸課題の整理や、神奈川県との立場も十分理解した上で、国や県との丁寧な調整が必要であること、そして、「横浜市が目指す特別市」について、市民がその内容と意義を十分理解する必要があることを強く感じました。

西区連合町内会・自治会連絡協議会としても、今回の意見交換を踏まえ、特別市の実現に向け、区役所とともに、地域で理解促進・機運醸成に努めていきます。

そのために、横浜市において、掲示板で周知しやすい広報物等による、わかりやすく継続的な周知や、市民向け説明会を開催するなど、制度への理解を深めるための丁寧な取り組みをしていただきますようお願いいたします。

西区の地域福祉の目標である「つながりを大切に にこやか幸せ」の推進のため、さらに「子育てしたいまち」、「選ばれるまち」、「住み続けたいまち」横浜の早期実現に向け、上記のとおり、西区連合町内会・自治会連絡協議会の意見を横浜市の取り組みに取り入れ、進めていただきますようお願いいたします。

令和5年2月21日

西区連合町内会・自治会連絡協議会
会長 天笠 米藏